

2019年度 入学試験問題

(A日程入学試験 2月3日)

数 学

注 意 事 項

1. 解答用紙は、中程に折り込んであります。
2. 解答用紙には、受験番号および氏名を忘れずに記入して下さい。
3. 解答は、問題ごとに解答用紙の所定の欄に記入して下さい。
4. 解答には、答えだけでなく、途中の考え方も記入して下さい。
5. 問題用紙は、1ページから4ページです。
解答用紙は、2枚です。
万一枚数が足りないときは、手を挙げて合図して下さい。
6. 試験終了後、問題用紙は各自持ち帰って下さい。

□ $x = \frac{1}{2\sqrt{2} - \sqrt{6}}$ のとき, $4x^2 + \frac{1}{x^2} - 4$ の値を求めなさい.

□ 2つの2次関数

$$f(x) = -x^2 + ax - 2$$

$$g(x) = x^2 - x + b$$

のグラフが、互いに接している。このとき、以下の問に答えなさい。

- (1) a と b の関係式を求めなさい。
- (2) b が最小となるときの a の値を求めなさい。

- ③ n を奇数とする. 1 から 10000 までの自然数のうち,
「偶数でも n の倍数でもない」
自然数の個数が 4000 個であるとき, n の値を求めなさい.

□ 2次関数 $f(x) = (x-1)^2 + 2$ について、以下の問に答えなさい。

(1) 原点を通り、グラフ $y = f(x)$ に接する直線の方程式を求めなさい。

(2) (1)で求めた接線とグラフ $y = f(x)$ との接点の座標をすべて求めなさい。

(3) (2)で求めた接点を通り、接線と直交する直線（法線）の方程式をすべて求めなさい。

(4) (3)で求めた2つの法線が交わる点の x 座標を求めなさい。

数学 解答用紙(1/2) (A日程入試2月3日)

| | |
|----|--|
| 総計 | |
|----|--|

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | | | | |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 | | | | |
|------|--|--|--|--|

| | |
|----|--|
| 小計 | |
|----|--|

1

$$x = \frac{1}{2\sqrt{2} - \sqrt{6}} = \frac{2\sqrt{2} + \sqrt{6}}{2}, \quad \frac{1}{x} = 2\sqrt{2} - \sqrt{6} \text{ なので,}$$

$$4x^2 + \frac{1}{x^2} - 4 = \left(2x - \frac{1}{x}\right)^2 = \left\{ (2\sqrt{2} + \sqrt{6}) - (2\sqrt{2} - \sqrt{6}) \right\}^2 = (2\sqrt{6})^2 = 24$$

2

(1)

2次方程式 $g(x) - f(x) = 2x^2 - (a+1)x + b + 2 = 0$ が重解を持つようにすればよい.

$$\text{判別式 } D = (a+1)^2 - 8(b+2) = 0 \text{ より, } b = \frac{1}{8}(a+1)^2 - 2$$

(2)

(1)より、 $a = -1$ のとき、 b は最小値 -2 をとる.

3

$$\text{偶数の個数} = \frac{10000}{2} = 5000$$

$$n \text{ の倍数の個数} = \frac{10000}{n}$$

$$2n \text{ の倍数の個数} = \frac{10000}{2n} = \frac{5000}{n} \text{ なので,}$$

$$\text{「偶数または } n \text{ の倍数」の個数} = 5000 + \frac{10000}{n} - \frac{5000}{n}$$

したがって、偶数でも n の倍数でもない自然数の個数は

$$10000 - \left(5000 + \frac{10000}{n} - \frac{5000}{n} \right) = 4000$$

これを解いて、 $n = 5$

数学 解答用紙(2/2) (A日程入試2月3日)

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | | | | |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 | | | | |
|------|--|--|--|--|

| | |
|----|--|
| 小計 | |
|----|--|

4

(1)

接線の方程式を $y = mx$ とすると、方程式 $x^2 - 2x + 3 = mx$ が重解を持てばよい。

$$x^2 - (m+2)x + 3 = 0 \text{ より、判別式 } D = (m+2)^2 - 12 = 0$$

これを解いて、 $m = -2 \pm 2\sqrt{3}$ 。したがって、求める接線の方程式は、 $y = (-2 \pm 2\sqrt{3})x$

(2)

$$x^2 - 2x + 3 = (-2 \pm 2\sqrt{3})x \text{ を整理すると、} x^2 \mp 2\sqrt{3}x + 3 = 0$$

$$(x \mp \sqrt{3})^2 = 0 \text{ より、} x = \pm\sqrt{3}$$

$$\text{このとき、} y = (-2 \pm 2\sqrt{3})(\pm\sqrt{3}) = 6 \mp 2\sqrt{3}$$

したがって、求める座標は $(\sqrt{3}, 6 - 2\sqrt{3})$, $(-\sqrt{3}, 6 + 2\sqrt{3})$

(3)

a) $y = (-2 + 2\sqrt{3})x$ の法線の場合

$$\text{法線の傾き} = -\frac{1}{-2 + 2\sqrt{3}} = -\frac{1 + \sqrt{3}}{4} \text{ なので、}$$

$$\text{法線の方程式は } y = -\frac{1 + \sqrt{3}}{4}(x - \sqrt{3}) + 6 - 2\sqrt{3} = -\frac{1 + \sqrt{3}}{4}x + \frac{27}{4} - \frac{7}{4}\sqrt{3}$$

b) $y = (-2 - 2\sqrt{3})x$ の法線の場合

$$\text{法線の傾き} = -\frac{1}{-2 - 2\sqrt{3}} = \frac{-1 + \sqrt{3}}{4} \text{ なので、}$$

$$\text{法線の方程式は } y = \frac{-1 + \sqrt{3}}{4}(x + \sqrt{3}) + 6 + 2\sqrt{3} = \frac{-1 + \sqrt{3}}{4}x + \frac{27}{4} + \frac{7}{4}\sqrt{3}$$

(4)

$$-\frac{1 + \sqrt{3}}{4}x + \frac{27}{4} - \frac{7}{4}\sqrt{3} = \frac{-1 + \sqrt{3}}{4}x + \frac{27}{4} + \frac{7}{4}\sqrt{3}$$

$$-\frac{1}{2}\sqrt{3}x = \frac{7}{2}\sqrt{3}$$

したがって、 $x = -7$